

メリトップ

Meri-

ククメリスカブリダニ剤

Top

www.agrisect.com



アザミウマ類を待ち伏せ防除

放飼したククメリスカブリダニは、葉裏や花の内部で定着し、アザミウマ類の幼虫を捕食します。また、餌となるアザミウマ類の幼虫がない時は花粉を餌として生活し、花の内部でアザミウマ類を待ち伏せします。



メリトップ



開封も簡単

発生前の導入が効果的！



メリトップ導入例



ククメリスカブリダニ



アザミウマ類の幼虫

捕食!



アザミウマ類による被害(吸汁痕)



導入方法

定植後、早めの放飼がおすすめ。
粘着捕虫資材(ペタットブルーなど)を設置してアザミウマ類の発生予察を行う。
アザミウマ類の捕虫が確認された場合は、天敵に影響の少ない薬剤を散布する。

定植



(1週間毎に3ボトル×3回を導入する。)

※10aあたりの導入例

導入開始から約3週間後に、花の内部などにククメリスカブリダニの定着が確認できます。

商品詳細

商品名: メリトップ

種類名: ククメリスカブリダニ剤

製品規格: 50,000頭/ボトル

学名: Amblyseius cucumeris

(農林水産省登録第20851号)

メリトップ

メリトップについて



アザミウマ幼虫を捕食するククメリスカブリダニ

有効成分の種類：ククメリスカブリダニ
 含有量：50,000頭*/900mlボトル
 その他の成分：植物片、ケナガコナダニ等

*第1、第2若虫および成虫を合計50,000頭以上封入しています。

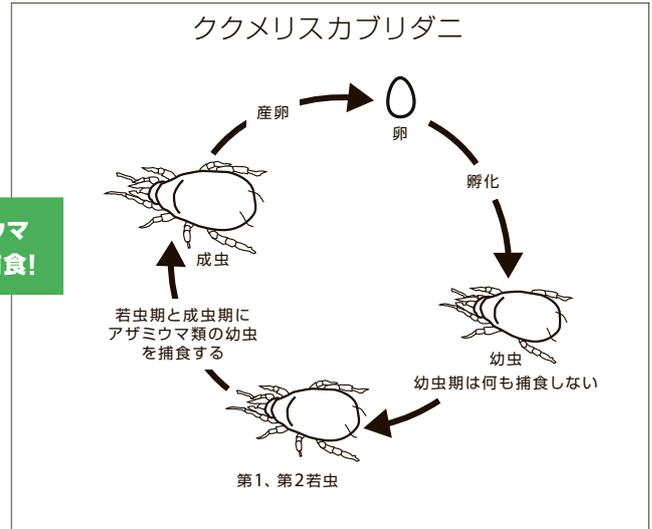
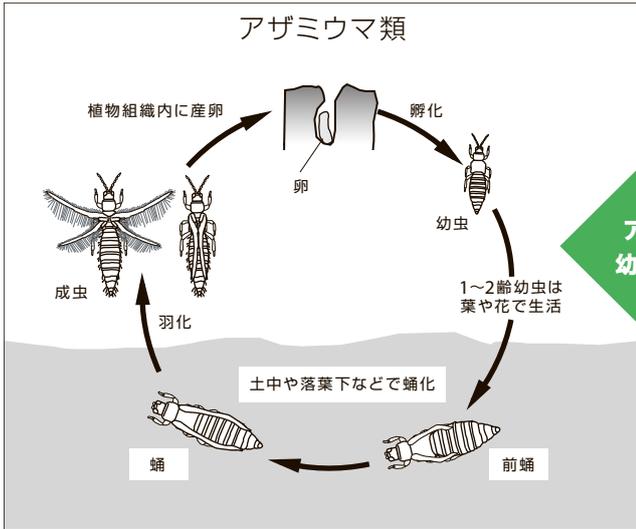
農林水産省登録第20851号
 適用表：

作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	100頭/株

メリトップ導入のタイミング

●アザミウマ類のごく発生初期に導入。

■虫を知る 害虫とその天敵の生活サイクルを知りましょう。



体長	雌成虫 1.0~1.1mm (ミナミキイロアザミウマ) 1.3~1.7mm (ミカンキイロアザミウマ)
ライフサイクル	卵→幼虫(1齢~2齢)→前蛹→蛹→成虫 *幼虫および成虫が植物を加害する。
発育期間(卵~成虫)	約12日(ミカンキイロアザミウマ:25℃環境下)
増殖方法	両性生殖および単為生殖
被害	一般的に植物の葉や花に寄生し、吸汁(食害)する。被害は作物や加害部位によって様々だが、部分的な退色または褐変、かすり症状などが見られる。また、ウイルス病を媒介する。

体長	雌成虫 約0.4mm 雄成虫 雌に比べやや小さい
ライフサイクル	卵→幼虫→第1若虫→第2若虫→成虫 *捕食活動を行うのは、第1・第2若虫および成虫
発育期間(卵~成虫)	約8.7日(25℃環境下)
増殖方法	両性生殖
捕食対象	アザミウマ類幼虫のほか、ダニ類や花粉も摂食する。アザミウマ類を捕食する場合、1齢幼虫を好む。
成虫の平均捕食数	ミカンキイロアザミウマ幼虫1.5頭/日

■試験例：アザミウマに対する防除効果



試験地：福岡県農業総合試験場(2000年)
 害虫発生状況：ミナミキイロアザミウマ多発生
 作物名：なす(品種：筑陽、定植：2000年9月20日)
 メリトップ放飼数：100頭/株
 放飼月日：2000年9月29日、10月5日、10月12日、10月19日、10月27日

■こんな農薬が併用できます

農薬名	ククメリスカブリダニへの影響	適用作物
ウララDF	0日	なす など
バイレーツ粒剤	ほとんど影響ない	野菜類(施設栽培)
プリロツソ粒剤	ほとんど影響ない	きゅうり、なす、ピーマン など
プレオフロアブル	ほとんど影響ない	きゅうり、とうがらし類、なす、ピーマン など
ベネビアOD	ほとんど影響ない	いちご、きゅうり、ピーマン など
ベリマークSC	ほとんど影響ない	きゅうり、なす、ピーマン など

薬剤使用の際は必ず薬剤容器等に記載されている内容を再確認してください。

2018.09

お問い合わせ・ご注文は

販売元